

# 表面実装型抵抗素子の商品化支援

## 鈴木アドバイザーによる支援

特許の側面からみた技術優位性の確認、開発方向付けのご相談をきっかけに支援を開始

### 《特許権取得に向けたサポート》

自社発明の多面的把握、定義化支援及び保全策の策定支援

特許情報活用、先行技術の技術的範囲の把握、自社発明との比較支援

中小企業支援策の活用提案（先行技術調査支援事業、早期審査、料金減免等）

国内優先権、国際出願等の制度活用提案

## 株式会社シンテック

自社発明の定義化、他社技術の存在を踏まえた権利化余地の有無について

検討したい

知財を活かした経営を定着させるための社内体制は整備途上であり、社内活動を促進させるためには人材が必要

## 特許情報活用等の成果

自社技術の保全策として機密管理すべき事項を決定

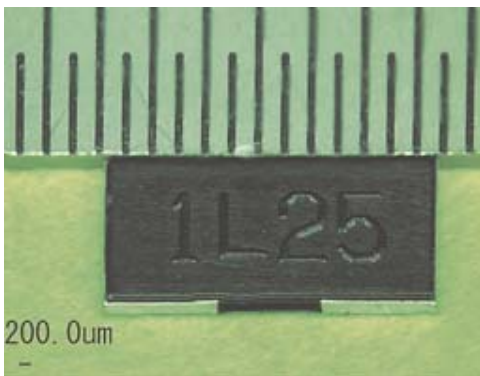
特許出願 1 件

特願 2010-247973

中小企業支援策を活用

無料特許先行技術調査支援事業を活用

- ・福島県中小企業知的財産戦略支援事業
- ・東北地域知財戦略コンサルティング事業
- ・経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」採択



## この支援によって開発・販売された商品

リチウムイオン電池の充放電電流を検出して制御するには抵抗値が低く高精度な抵抗素子が必要になります。本製品は製造コスト低減、高精度、高信頼性が揃った表面実装型の抵抗素子です。

## 支援先企業の概要

会社名 株式会社シンテック 代表取締役 赤津 和三  
住所 福島県いわき市 設立 1996年 資本金 1000万円  
ホームページ <http://www.syntec-jp.co.jp>

## 鈴木 優(福島県知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

株式会社シンテックでは、福島県中小企業知的財産戦略支援事業・東北地域知財戦略コンサルティング事業の採択を受けて知的財産を活用した経営に取り組んでいますが、特許の側面からみた自社技術優位性の確認、開発方向付けのご相談をきっかけとして商品化支援を開始しました。

支援の成果として、特許情報の活用を通じた他社技術の分析と自社事業戦略への反映、発明定義の明確化といった社内活動を経て特許出願を行っていただくことができました。

その後、支援企業を含む福島県内企業4社が経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」の助成を受けて量産化技術確立のための共同開発に入ることになりました。今後は域内生産の拡大による経済効果と雇用拡大ならびに産業振興に繋がることが期待されます。



平成22年12月現在